

民生委員・児童委員が新たに委嘱されました

平成28年12月1日から3年間を任期とした、新たな民生委員・児童委員129人と主任児童委員6人が、厚生労働大臣から委嘱されました。

民生委員・児童委員は、「住民の相談を聞いて、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会づくり」を目指して活動いただいています。

また、主任児童委員は、「健やかに子どもを生み育てる環境づくり」を目指して、主に児童福祉に関する活動について活動いただいています。

新たに委嘱された委員は、次の皆さんです。
(敬省略)

問い合わせ 福祉総務課 ☎552-7101

氏名	担当区域	氏名	担当区域	氏名	担当区域
植村佳代子	東新町	西田 弥生	小中・辻	谷後 朱美	味間北
中山ゆかり	東新町	細見 博	曾地口・曾地中・曾地奥・堂山住宅	田中 淳夫	味間奥
齋藤 肇	西新町	内藤 洋子	曾地口・曾地中・曾地奥・堂山住宅	鷲尾 隆円	味間南
三谷 晴美	西新町	樋口 和美	野々垣・西ノ堂・入組・たかしら台	山中 正行	音羽グリーンタウン・味間新
森本 宏之	南新町	中西 厚子	西荘・八上上	選任中(※)	中野・音羽住宅・味間東
田中 市郎	南新町	森田 新治	御新田原・御新田電停・御上/東・御上/西	金井 園子	大沢
田野たま代	北新町	今西 敏康	後川中・後川下・後川奥	金井 拓男	大沢新
川上 浩美	乾新町	梶谷千鶴子	奥泉守・泉守中・泉守口	森本 秀子	弁天
井関 初美	乾新町	大對 礼子	東本荘・西本荘	内山 美典	杉
西山由美子	上河原町	中野 清美	佐貫谷・春日江	木村登志男	杉
紀本 亘	下河原町・小川町	山田 好治	泉・倉谷	瀧園 俊弘	住吉台1区
西山 一夫	上立町	青木 恵由	福住下・うと木・福住中・福住上	稲森 律子	住吉台2区
井貝 彰子	下立町・呉服町	森田きよ子	川原・本明谷	矢野 幸子	住吉台3区
泉 より子	上二階町・下二階町・山内町	野々口晋平	安口西・安口東・西野々	大前 良太	住吉台4区
熊谷 満	西町・魚屋町	西井 幸路	下原山・中原山・奥原山	福島 亮子	住吉台5区
竹内 初美	池上・港・ホープ池上・ホープ池上II	中森 貞夫	安田・藤之木・幡路	小池 正治	住吉台6区
小島 康子	糯ヶ坪・糯ヶ坪北	根本 隆弘	二之坪・箱谷・小野新・小野奥谷	澁谷 茂巳	北・ひまわり・リバーサイド野中
段畑真奈美	糯ヶ坪・糯ヶ坪北	瀬々倉美幸	向井・栃梨・貝田	廣瀬 芳孝	野中・谷山
溝畑 清美	京町・渋谷・西八上・京町南	塚本 茂	井串・細工所・塩岡	酒井 道子	岩崎・宇土
小西真由美	小多田一・小多田二・小多田三	田畑多智子	草ノ上・垂水・小立・小田中	西山 治郎	小枕
柴田るり子	殿町・八上下・八上内	九鬼 雅子	山田・下夜見南部・下夜見北部・上夜見	中西 直子	真南条上・真南条中
津々木三夫	般若寺・大上	西田 義一	福井・三熊	田中 義顕	真南条下・栗栖野
石田すみ子	和田・大淵・畑宮	山田 幸子	中・小倉・宮代	酒井 喜義	草野・古森・油井
伊藤 昌	菅・瀬利・今谷	桑形 恵康	小原・藤坂	酒井 勇次	不来坂・住山
畑 恵理香	奥畑・火打岩	中田三代司	市野々・立金・大藤・奥山	市嶋 弘昭	古市
石橋ちえみ	野間・東沢田	小林 恵子	黒田・下新田	酒井 圭子	波賀野新田・見内
松笠 康一	新荘・大熊・北沢田	山本 幸雄	上新田・川北・口阪本	時本 美重	波賀野・当野
奥田 和代	前沢田・筋山	小谷 芳樹	西阪本・西谷・河内台	酒井 節代	矢代新・南矢代
谷垣 美奈	黒岡	森本 彰人	東木之部・西木之部・川西・高屋	上田 照代	犬飼・初田・牛ヶ瀬
奥山 徹	黒岡	井階 知代	宮田・下板井	小林 正和	黒石
森本 浩之	寺内・佐倉・大谷・鷲尾・知足・丸山	明山 順子	上板井・小坂	選任中(※)	本荘
山田ひろみ	藤岡奥・藤岡口・熊谷	松尾 美紀	市山・乗竹・打坂・垣屋	西村 英洋	今田・今田団地・みどり台・佐善新田
畑岡 俊文	郡家	宇杉 昌史	高坂・倉本・坂本	岡田 晃一	今田新田・市原・芦原新田
浅尾 政子	郡家	能勢 震次	栗柄	寶田 一郎	木津・五月ヶ丘
太期 均	東浜谷・西浜谷・野尻	榮 清子	川原・本郷上	前田 浩之	四斗谷・辰巳・上小野原
畑 富貴枝	今福・矢代・大野	細見みさ子	本郷下	太治 淑子	下小野原・休場
岸本 加代	有居・西岡屋	岩城 衛	遠方	市野 哲雄	上立杭・美山台
谷田恵美子	有居・西岡屋	谷掛加津一	桑原	松本 真市	下立杭・東庄
谷田 章男	東岡屋	水船 幸子	追入・大山宮	溝畑 和男	釜屋・みそら台・花みずぎ台
西山かずみ	東岡屋	竹田 徳成	大山上・石住・高倉		
力本余志子	東岡屋	中澤 宜幸	一印谷・町ノ田・大山新	藤井 節子	篠山支部
上本和佳子	風深・吹上	森本真理子	長安寺・北野新田・北野	出口 玲子	城東支部
吉原 秀子	風深・吹上	雪岡富美代	大山下・東河地・明野	遠山 泉美	多紀支部
吉田真智子	日置	細見 隆夫	東吹上・東吹中・東吹下	高辻 直子	西紀支部
波部 輝美	上宿・井ノ上・北嶋	片山喜美代	吹新・網掛・東古佐・西吹	西田 直美	丹南支部
山本 寿幸	畑井・宮ノ前・畑市	河南真知子	西古佐	杉尾 清子	今田支部

(※) 兵庫県の民生委員審査専門分科会を経て4月1日より委嘱予定。

パブリックコメント

皆さんの意見を
お待ちしております！



パブリックコメントとは
条例や計画などを定める前に案を公表し、市民の皆さんに広く意見をお聞きします。その結果を条例や計画などに反映させることによって、市民目線の行政を進めるものです。

篠山市農都創造計画(案)に対する意見を募集します

篠山市の農業の発展と農村の保全に関して、基本的な考え方や、具体的な取り組みを示すとともに、市民、事業者、行政などが行動する際の指針となるものです。

なぜ計画を作るの？
農業と農村には食料を生産する以外に、水田のダム機能による防災や農村風景、生きものの命を育む環境など、私たちにさまざまな恵みをもたらしています。そして、篠山の豊かな自然と多くの特産物は、農業の歴史や伝統的な文化とともに、先人の努力により脈脈と受け継がれています。

平成21年には、これらの多面的機能の重要性を見直し、農業を基幹産業として明確に位置づけることを目的に、自然の気候風土に恵まれた日本一の農業の都として「丹波篠山農都宣言」を行いました。

農業と農村を取り巻く環境は、人口減少や高齢化、農地の荒廃などの問題があります。が、市民共有の財産でもある豊富な丹波篠山ブランドの農産物や、日本の原風景とも言えるのどかな農村景観を次世代に引き継ぎ、基幹産業である農業の活力を高め、元気な農村づくりを目指します。

計画はどのようにして作られたの？
条例で定められた「篠山市農都創造審議会」を平成27年6月に発足し、「篠山市農都創造計画(案)」の作成について市長が諮問しました。その後、本年3月に審議会から答申を受け、同案を基に市としての案をまとめました。

意見を提出するには
計画(案)の閲覧場所 農都政策課、各支所、市ホームページ

募集期限 1月19日(木)

意見の提出方法 任意の様式

丹波篠山 農都宣言
自然の気候風土に恵まれた日本一の農業の都、篠山市

- 多様な担い手の育成
- 丹波篠山ブランドの強化
- 丹波篠山の魅力を発信する
- 農地の保全と活用
- 安心安全な食料の供給
- 環境創造型農業・農村の推進

意見および住所・氏名を記入の上、農都政策課(市役所第2庁舎2階)まで

○郵送 〒669-2397
篠山市北新町41・農都政策課宛

○FAX 552-2090
○電子メール noin_div@city.sasayama.hyogo.jp

問い合わせ 農都政策課 ☎552-6580

2▶11 特集
12▶13 街かどリポート
14▶17 タウンレックス
18▶21 市政リーダー
22▶23 ささやまホットステーション
24▶25 はぐみ
26▶29 施設情報・相談
30▶35 広報

問い合わせ 子育て未来課 ☎552・1115

病児保育が始まります

(事前登録をお願いします)

篠山市では、子育てと仕事を両立できるように、病児などで集団保育が困難な子どもを一時的に預かる「病児保育事業」を実施します。

※この事業は、医療法人社団小嶋医院が委託して行います。

対象児童 次のすべてに該当する児童

- 生後6カ月から小学6年生までの児童
- 症状の急変はないが、病児などの回復に至っていない



飲食店や宿泊施設を営む皆さんへ 市内産の食器購入経費を補助します

問い合わせ 創造都市課 ☎552・5106

丹波焼をはじめとする市内産の食器で、豊かな篠山の食材を活用した料理により観光客などをもてなし、食と器の力で篠山の魅力の向上を図るため、市内の飲食店や宿泊施設が市内産の食器を購入する際に、経費の一部を助成します。

食と器の出逢い事業補助金

補助対象 市内で飲食店または宿泊施設を営む事業者

補助対象経費 飲食提供用の食器類(市内産)の購入に必要な経費(1店につき1回限り) ※市内産の食器は、篠山らしさが感じられ、主として化学製品を用いていないもの。

※飲食提供用とは、皿、わんなど、食事に使用するもので、調理用、保存用、観賞用のものは除く。

補助金額 上限10万円で購入

要望などの受付状況をお知らせします

問い合わせ 総務課 ☎552-5111

平成28年度上半期(4月～9月)に市が要望を受け付けた件数は344件でした。道路や河川などに関するものが最も多く、158件で、次に下水道に関するものが26件、議会への陳情・要望などが18件です。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。か、市役所本庁舎・第2庁舎1階ロビーまたは支所で閲覧できます。



地方都市のリーダーへ前進

新年あけましておめでとうございます。

篠山市民の皆様にとって良いお年でありませう、お祈りいたします。昨年は「地方都市のリーダー」となる「意気込み」でしたが、今や「丹波篠山は全国的ですね」と大きな注目を集めるようになりました。篠山市は今年もさらに前進です！

全国規模の大会を 篠山市で開催

昨年は全国規模の大会を篠山市で開催しました。2月には日本遺産第1号の全国18の地域が集う日本遺産フォーラム、9月には全国の「小京都」が集う全国京都会議です。いずれも丹波篠山の魅力を内外に発信し、観光など活性化への連携を約束しました。

全国から注目

篠山市の食、自然と文化、そしてまちなみ、田園を生かす景観の取り組みは高く評価され、観光客も増え続けています。

特に、昨年注目を集めたのが、集落丸山、篠山城下町ホテルNIPPONIAをはじめめとする古民家再生の取り組みです。

なんと昨年11月には、菅内閣官房長官が「この目で丹波篠山を見たい」と篠山市にお



来篠された菅内閣官房長官

越しになりました。私は篠山城跡へ案内し、「篠山にはお城より高い建物はありません」と自慢しました。

また、昨年、古民家を活用するなどの起業・飲食業、小売業、住宅介護などは篠山市が助成するものだけでも12件にのぼっており、市内におしゃれなお店が増えてきました。

安定ヨウ素剤の 事前配布

また、市民生活のうえで特筆すべきは、万一の原発事故に備えての安定ヨウ素剤の事前配布をしたことです。原発から30km圏外での自治体では全国初の取り組みで、その手続きに苦労もありましたが、受領を呼びかけた3～12歳の子どもたちには7割近く配布ができました。

篠山市は子どもたちを、そして市民を大切にすることを

市民あげて さらに前進！

本年はさらに、市民あげての取り組みを進めたいと願っています。地区ごとの日本遺産の魅力づくり、地区ごとのふるさと篠山に住もう帰ろう運動、地区ごとのグリーンインフラ(自然を活かしての地域づくり)などです。

地方都市のリーダーとして、さらに前進です！本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。



ふるさといちばん

市長の **HOT** と一く

篠山の時代をつくろう

今月のこんにちは市長室

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、1人20分程度の面談または懇談会です。

とき 1月10日(火)13:30~16:00

ところ 西紀支所分室(しゃくなげ会館)

問い合わせ 秘書課 ☎552-5109



全国で18の日本遺産第1号のまちが集う「日本遺産フォーラム」

12 13 14 17 18 21 22 23 24 25 26 29 30 35